

# 知性で未来を切り拓く千歳の子ども

～夢に向かって 未来への扉をひらくために～

**小学生家庭向け 保存版**



千歳市教育委員会



# 「確かな学力」

## なぜ、いま必要なのか

子どもたちは、将来の夢や、なりたい職業などを持っているでしょうか。いまはまだぼんやりとしたものでも、いつか自分の将来について深く考える時期が来ます。情報技術の進歩や社会のグローバル化など、変化の激しいこの時代にあって、子どもたちが大人になるころ、今ある職業は大きく変わっていると言われています。

この先どのような生き方を選ぶとしても、時代や社会に適応して道を切り拓いていく力、困難な状況に置かれても解決法をさがしだす力、未知の状況にも対応できる力が求められ、その基礎となるのが「確かな学力」です。

これから未来のために、いま何ができるか、いま始められることは何か、皆さんのが学力について考えるきっかけとなるよう、この冊子を作成しました。

### 時代とともに教育は変わります

ねえ、知ってる？  
2年後から、今まで中学生になってから勉強していた英語が5年生から始まるよ。



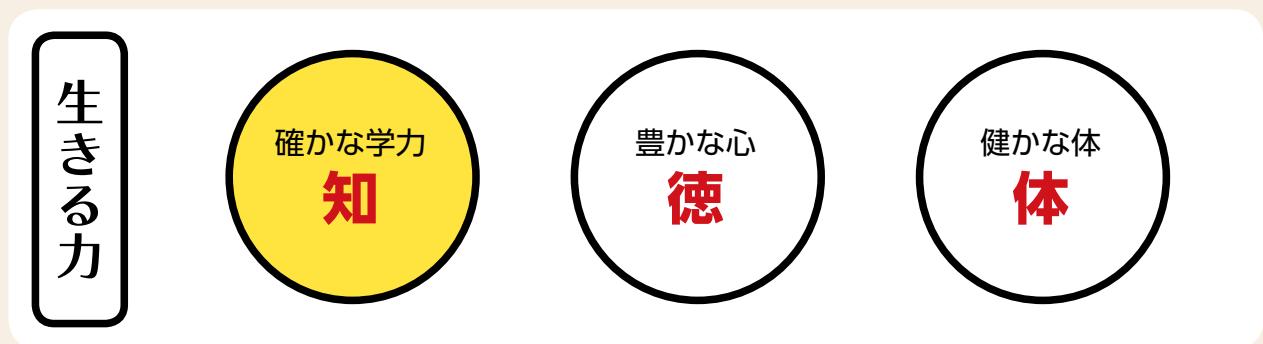
そうなの。ちょっと早すぎない？  
「聞く」、「話す」だけの外国語活動ではなくて、「書いたり、読んだり」しなければならない本格的な「英語」が始まるということ？



日本を訪れる外国人が増えているようだし、英語を話せないと就職できない時代がくるかもしれないわね。ニセコのスキー場では、日本人の方が少ないといううわさを聞いたことがあるわ。  
千歳だってずいぶん外国人が増えたと思わない。時代にあわせて変わっていかなければならないということかしらね。



# 子どもたちに「生きる力」を身に付けさせるため 「確かな学力」が必要です。

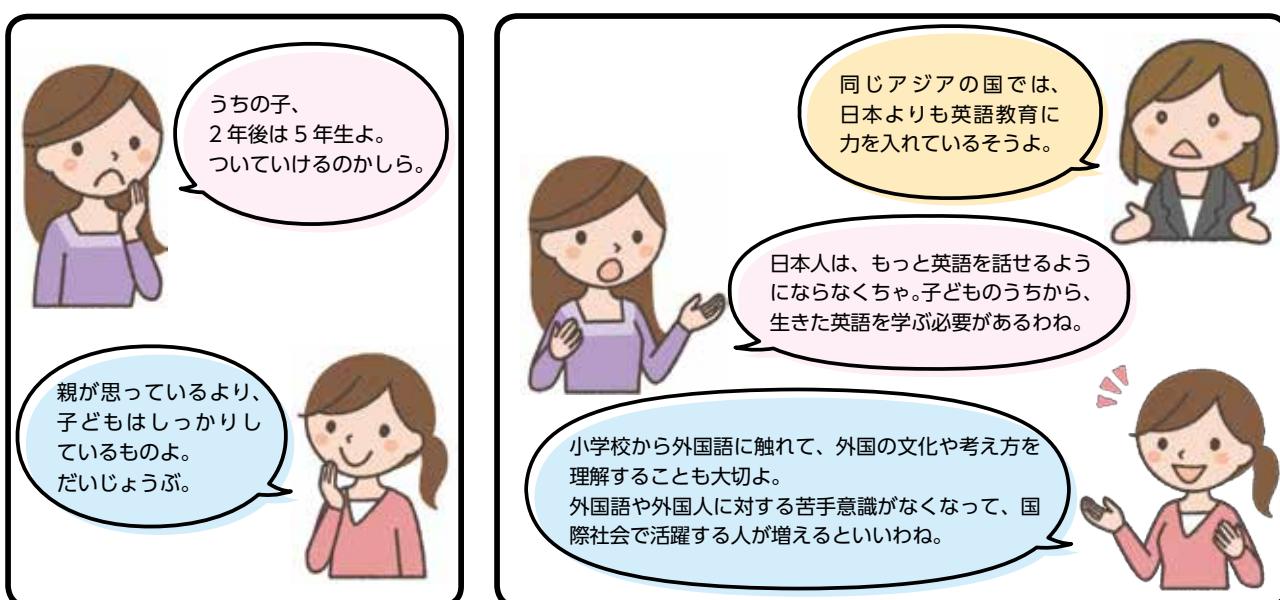


子どもたちが、たくさんのことや情報を吸収できるこの時期にしっかりと学んで、将来、より良い社会と幸せな人生の創り手となるために、「確かな学力」は欠かせないものです。

勉強して学力を高めることで、基礎的・基本的な「知識や技能」はもちろんですが、次にあげるような「生きる力」が身に付きます。

- ・将来、人生の大切な場面において、自分で判断しベストの選択ができるようになります。
- ・自分で人生を切り拓いていくことができるようになります。
- ・自分のやりたいことに向かって、「あきらめず」「努力する」ようになります。
- ・集中して考え、情報を正しく読み取ることができるようになります。
- ・将来の進路選択の幅が広がります。
- ・自分の可能性が高まります。

**自分の将来の姿を描き、その実現に向けて努力しましょう。**



# 全国学力・学習状況調査は学力向上の道しるべ

毎年、6年生を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」の結果は、調査を受けた子どもたち一人ひとりに個人の結果が戻されます。

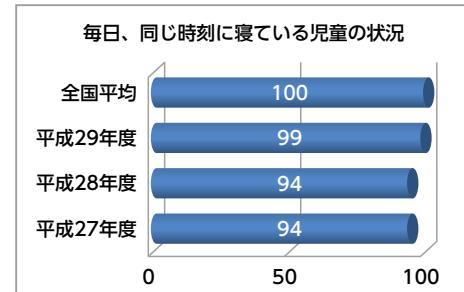
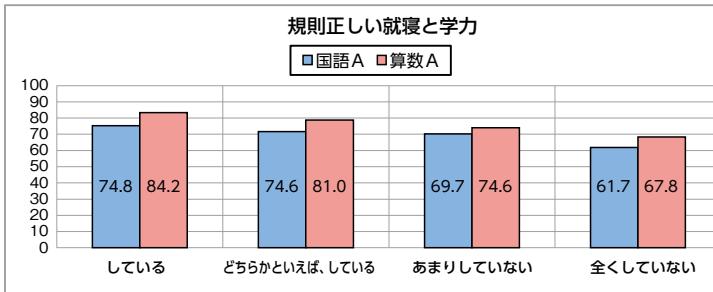
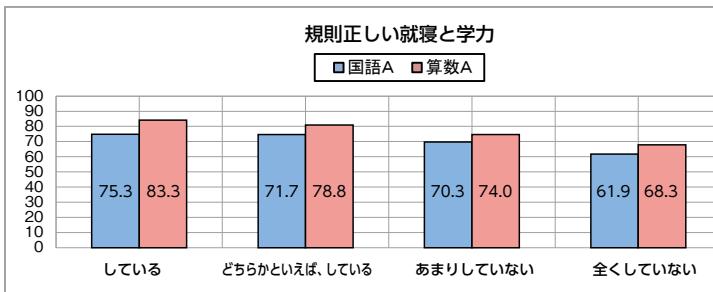
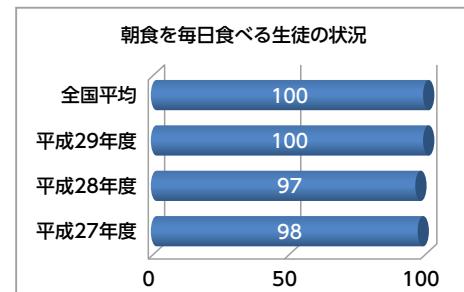
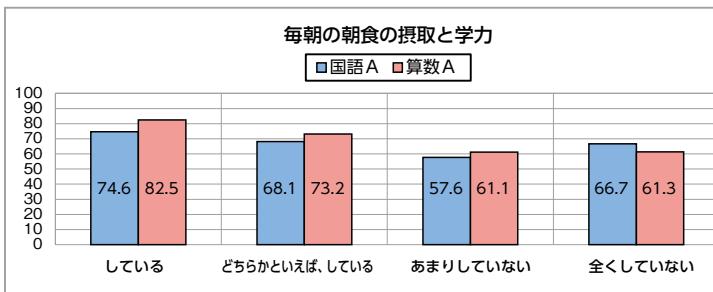
今、自分はどれだけ「基礎的・基本的な知識や技能」が身に付き、「身に付けた知識を使って問題を解決する力」がどのくらい付いているのか知ることができます。

また、さらにレベルアップするためには、どのような知識を身に付け、問題をよりよく解決するためにどのような力を伸ばしていかなければならないのかを知ることもできます。

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習の道しるべとなるものです。

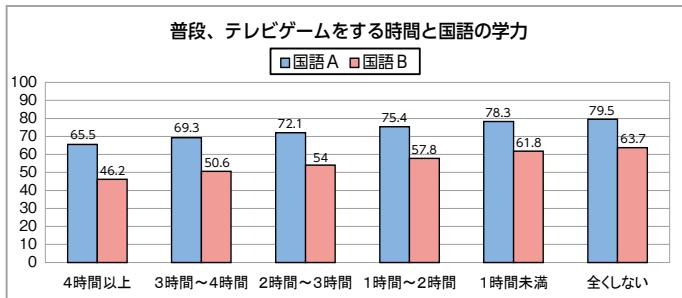


## 千歳の子どもたちの生活習慣や学習習慣の現況は？

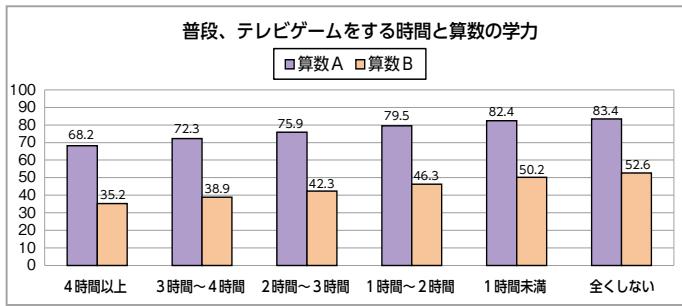
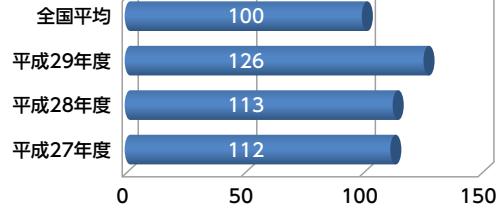


上のグラフは、朝食の摂取や規則正しい就寝や起床の習慣と国語A、算数Aの基礎的な学力の関係を表しています。**基本的な生活習慣が身に付いている児童ほど学力が高い傾向が見られます。(国語B、算数Bも同様です。)**

千歳市では、朝食を毎日食べる児童や同じ時刻に寝たり起きたりしている児童の割合は全国と同様で、**基本的な生活習慣が身に付いている児童が多いといえます。**



普段、2時間以上3時間未満テレビゲームをしている  
千歳市の児童の状況  
(全国平均を100として全国と千歳を比較しています。)

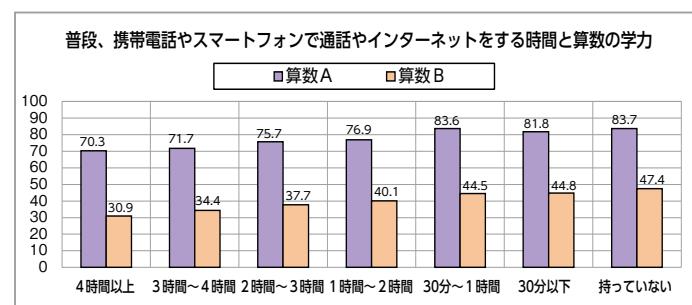
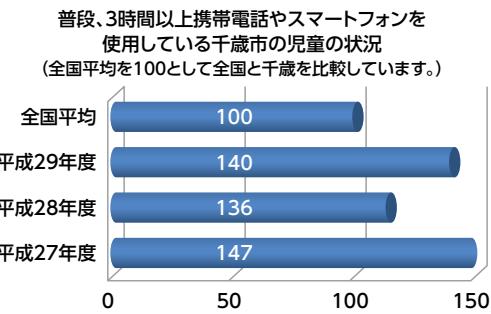
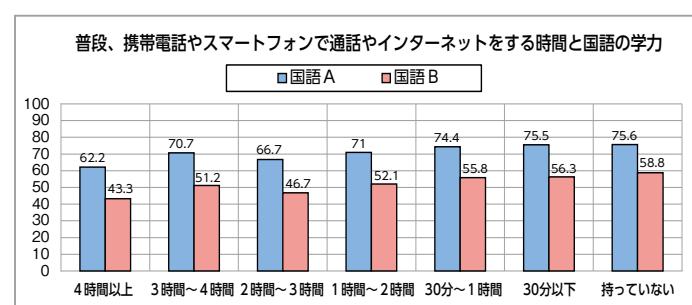
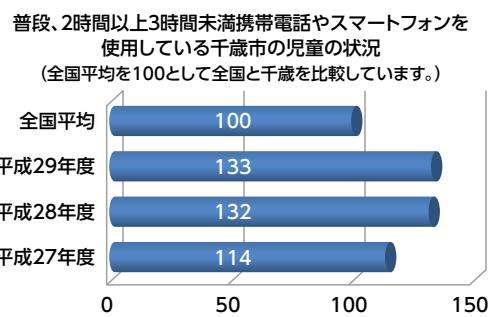


普段、3時間以上テレビゲームをしている  
千歳市の児童の状況  
(全国平均を100として全国と千歳を比較しています。)



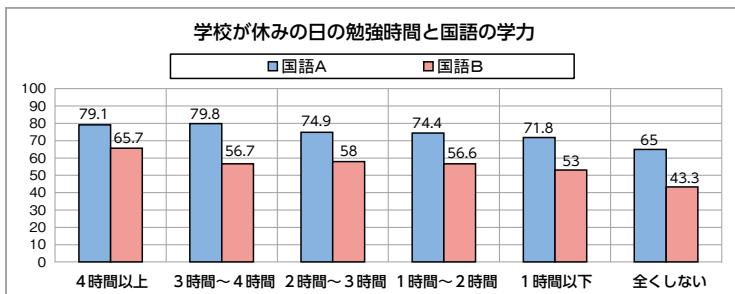
上のグラフは、ゲームをする時間と国語、算数の学力の関係を表したものです。**ゲームの時間が短いほど、国語や算数の学力が高い傾向が見られます。**

千歳市では、普段、2時間以上テレビゲームをしている児童の割合は、全国を大きく上回っています。  
**特に、3時間以上テレビゲームをしている児童の割合が高い状況が見られます。**

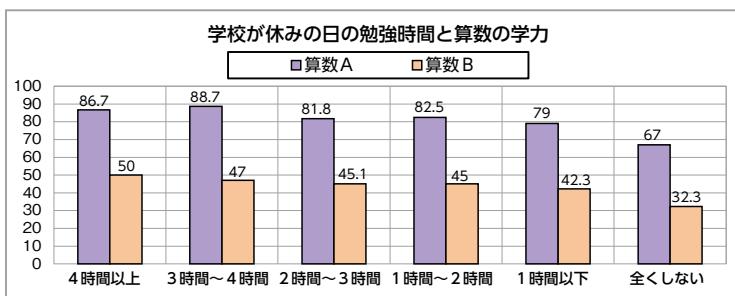
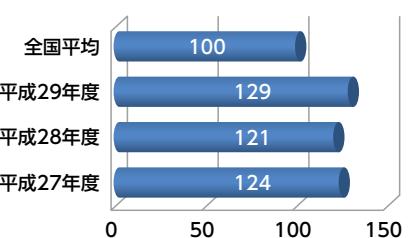


右上のグラフは、普段、携帯電話やスマートフォンで通話やインターネットをする時間と国語、算数の学力の関係を表しています。**携帯電話やスマートフォンを使用する時間が短いほど国語や算数の学力が高い傾向が見られます。**

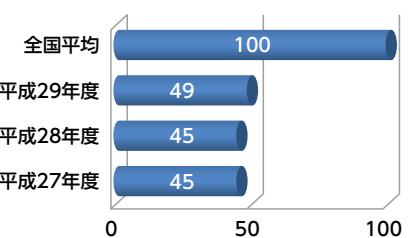
千歳市では、普段2時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する児童の割合は、全国を大きく上回っており、特に、3時間以上使用している児童の割合が高い状況が見られます。



普段、1時間～2時間勉強する児童の状況



休日に3時間以上勉強する児童の状況



左上のグラフは、学校が休みの日の勉強時間と国語、算数の学力の関係を表したものです。**学校が休みの日に家庭で学習する時間が長いほど、国語や算数の学力が高い傾向が見られます。**

千歳市では、普段「学年×10分プラス10分」の家庭学習に取り組んでいる児童は増えており、全国を上回っていますが、学校が休みの日に3時間以上勉強する児童の割合は、ここ3年間増えていない状況が見られます。

千歳の子どもたちは、ゲームやスマートフォンに長時間費やしている割合が全国を大きく上回っており、中でも1日に3時間以上ゲームに熱中している子の割合が高くなっています。

帰宅後、食事、入浴、睡眠時間などの時間を除く時間の中で、ゲームや携帯電話、スマートフォンでの通話やインターネットをする時間が長くなるほど、学習時間が少なくなります。

生活習慣を整えることで子どもたちの学力を向上させることができます。

千歳の子どもたちには、まだまだ伸び代があります。



## column コラム

### 生徒指導の3つの機能

子どもが自分の目標を達成できるようになるには、その場、その場でどのような行動が適切であるか自分で判断し、決定して行動できる力を高めていくよう、周りの大人が手をさしのべていくことが必要です。

その際、生徒指導の3つの機能を働かせて子どもに接すると大きな効果が得られるといわれています。

#### 自己決定の場を与える

自分で決めて行動させることです。

#### 自己存在感を与える

自分は価値ある存在であることを実感させることです。

#### 共感的な人間関係を育てる

相互に人間として尊重しあう態度のことです。

# “学力向上に向けた 教育委員会の 教育環境の整備と学校の取組”

## ◆少人数グループでのきめ細かな学習

千歳市では、子ども一人ひとりの学習内容の定着状況や学習スピードなどに応じた指導の充実を図るため、小学校13校に学習支援員を配置しています。

配置校では、1つの学級や学年を習熟の程度に応じた複数の少人数のグループに再編し、算数の授業を行っています。

このような指導方法を「習熟度別少人数指導」といいます。少人数での学習は、子どものつまずきをいち早く発見し対応することができます。より多くの子に自分の考えを発表させたりすることができます。

平成29年度の全国学力・学習状況調査では千歳市児童の算数Aの平均正答率が全国を上回り、習熟度別少人数指導が基礎的・基本的な知識・技能の習得に大きな効果を發揮しました。



## ◆ICT機器を活用した分かりやすい授業

千歳市では、全小中学校の普通教室、特別教室に電子黒板、実物投影機、ブルーレイレコーダーなどのICT機器が整備されています。

教室に備え付けられている黒板に課題を書くより、電子黒板に課題を映し出す方が、子どもたちの集中力は高く、「今日はどんなことを解決すればよいのか」をしっかりと理解し、課題解決に取り組むことができます。



また、自分の考えや調べたことを発表する時は、自分のノートやワークシートなどを实物投影機で電子黒板に映し出し、説明することができ、発表を聞いている子は、聴覚と視覚を働かせて友だちの発表内容を理解し、自分の考えと比べながら、学習を深めています。

## ◆千歳科学技術大学との連携による家庭学習の支援

千歳市では、千歳科学技術大学の協力を得て、市内の小学校で行われている夏休み、冬休みの補充学習に学生ボランティアを派遣しています。長期休業中の補充学習には、たくさんの子どもたちが参加するので、多くの指導者が必要ですが、学生ボランティアによって補充学習に参加した子どもたち一人ひとりに応じた指導の充実が図られてきています。

また、千歳科学技術大学では、学校や家庭でインターネットを使用して学習できるシステム「eカレッジ」を提供しており、自由な時間に自分のペースで学習が可能です。



# “よりよい家庭学習の習慣に向けて”

子どもたちは、毎日学校でたくさんのこと学びます。

学んだことを定着させるためには、学習内容を振り返ることや、次の学習内容を確認し問題意識をもって授業に臨んだりすることが大切です。

学校の授業に集中して取り組むことはもちろんですが、**家庭での学習習慣の確立**が子どもたちの学力の向上に大きな役割を果たします。

①に ルール

②に がまん

③に 認めて、ほめて  
子どもを伸ばす

#01

## わが家のルールが決まっているか

自分で決めたことは守れるが、人から言わされたことは守れないものです。  
親がアドバイスしながら、「ゲームの時間はあなたが決めなさい。」

#02

## がまんする習慣をついているか

手に入れるより、手に入れたものをどうコントロールするのかが難しい時代です。  
「がまん」させることをためらう必要はありません。

#03

## がんばりを認め、ほめているか

そんなにほめてばかりでは…という心配はご無用です。  
思っているよりほめていないものです。ほめるときはけちってはいけません。

column  
コラム

## ならぬことはならぬものです

会

津藩ではかつて、6歳から9歳までの藩士の子どもが「什」という組織をつくり、毎日順番に什の仲間のいずれかの家に集まり、什長が次のような「掟」を一つひとつみんなに申し聞かせ、昨日から今日にかけて掟に背いた者がいなかつたかどうか反省会を行っていたそうです。この掟は、大人たちに言われて作ったものではなく、子どもたちが相談してつくったもので、互いに約束し励ましあって成長するためのものでした。

会津若松市の小学校では、「什の掟」を現代に合うものに変えて、毎日、朝の会でクラス全員で唱え、先人の教えを引き継いでいます。



# 「ご存知ですか？」 「家庭生活宣言」リニューアル

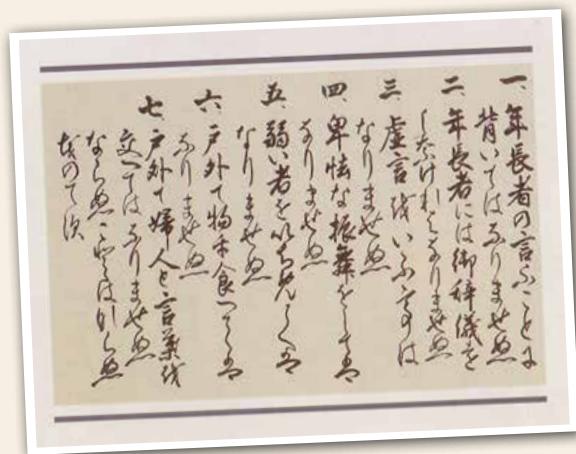
市内小中学校のPTAで組織する千歳市PTA連合会では、子どもたちが規則正しい生活習慣を身に付けられるよう、統一した「家庭生活ルール」「家庭生活目標」を定めた「千歳市家庭生活宣言」を平成27年に作成しました。

PR用リーフレットを全家庭に配布し、啓発活動を展開しています。

本年度中にリーフレットの内容をリニューアルし、新しい「家庭生活宣言」を再び配布する予定です。

家庭学習や生活リズムなど家庭でのきまりは、子どもたちが自分で目標を定め、家庭での見守りや声かけにより徹底されます。

是非、新しい「家庭生活宣言」を基にして各ご家庭で「我が家のルール」をつくってみませんか。



## 什の掟(じゅうのおきて)

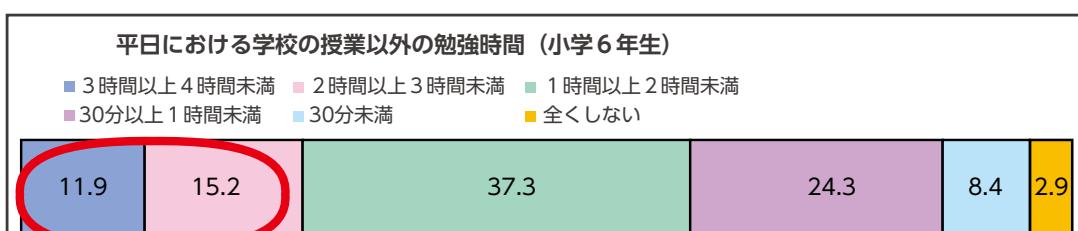
- 一 年長者の言うことに背いてはなりません
- 二 年長者にお辞儀をしなければなりません
- 三 うそを言うことはなりません
- 四 卑怯な振舞いをしてはなりません
- 五 弱いものをいじめてはなりません
- 六 戸外で物を食べてはなりません
- 七 戸外で婦人と言葉を交わしてはなりません  
ならぬことはならぬものです

# “今的孩子たちの家庭学習の時間は？”

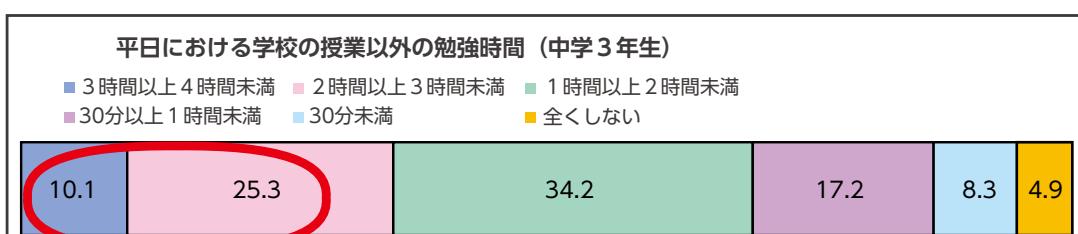
北海道では、家庭学習の時間の目安として「学年×10分プラス10」としている小学校が多いようです。千歳市においても、この時間を**最低限クリアすべき時間**として児童生徒に示しています。

一方、文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙の結果を見ますと、児童生徒の家庭学習の時間は増加傾向が続いています。平成29年度の調査結果から全国の小学6年生と中学3年生はどのくらい勉強しているのか見てみましょう。

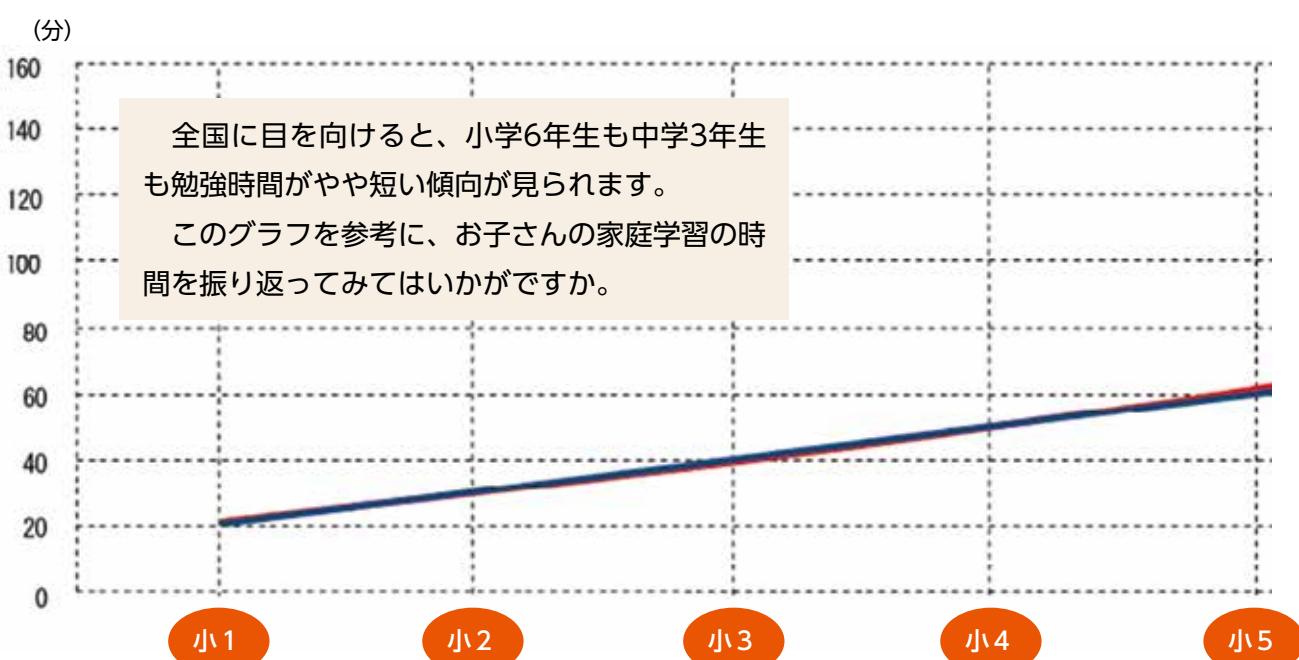
(平成29年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙結果より)



普段、学校以外で2時間以上勉強すると回答した小学6年生は、  
**全国で27.1%**となっています。



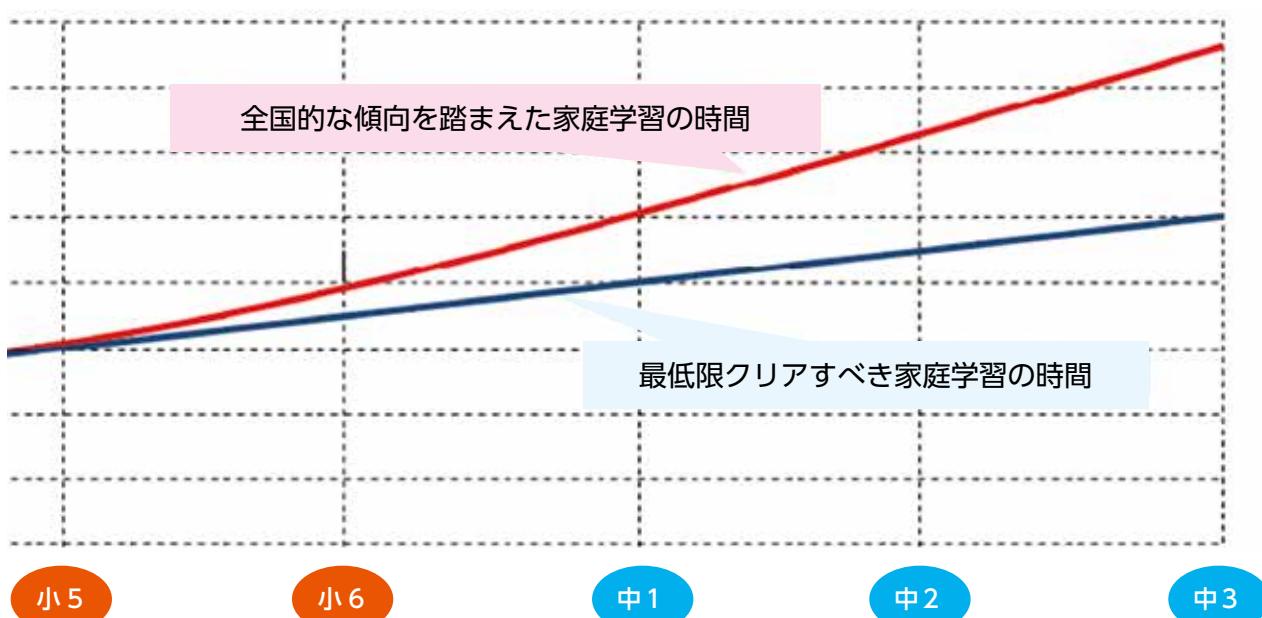
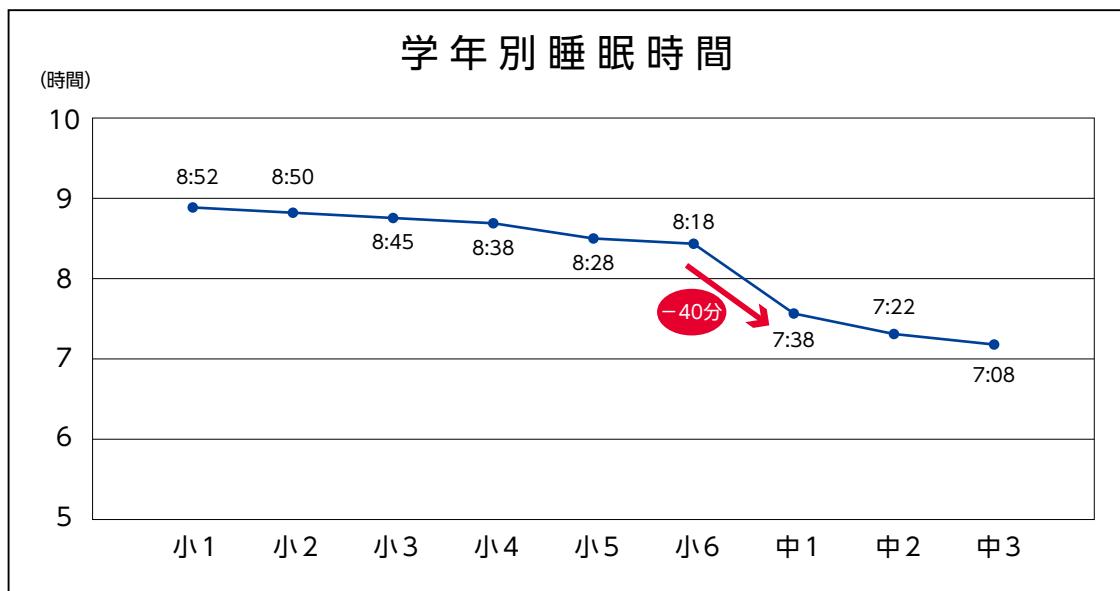
普段、学校以外で2時間以上勉強すると回答した中学3年生は、  
**全国で35.4%**となっています。



# “生活リズムは睡眠から”

「睡眠」は、成長期の子どもにとって、とても重要です。成長ホルモンの分泌は睡眠中にもっとも多く、「寝る子は育つ」は科学的に実証されています。また、十分な睡眠は、生活リズムを整え、昼間の活動を活発で充実したものにします。

(「子どもの生活と学びに関する全国調査」結果より)



## column コラム



### 千歳物語

今から約百年前、先人たちは、明日への希望に燃え原野に着陸場を造り上げました。空を飛ぶ乗り物への好奇心、やがて来る航空機時代への直感的洞察、人々と志を共にする協働の精神、厳しい労働をいとわない屈強な身体、旺盛な行動力、それらが、未来を切り拓く魂となって、今日の発展するまち「千歳」の礎を築いたのです。この地を切り拓いた先人の精神は、千歳市が求める教育の姿となって引き継がれています。

(「千歳市学校教育基本計画」より)

発行 千歳市教育委員会

編集 千歳市教育委員会学校教育課・学校指導課

平成30年3月発行